八幡平市 健康と癒しをテーマに滞在型観光を促進

市産業振興協議会(横沢盛市産業振興協議会(横沢盛立を行いました。この事業は同な会が、温泉と特産品を活用協会が、温泉と特産品を活用し、健康と癒しをテーマにした。 と行っ 初日と2日目は、温泉入浴 たものです

健康・癒し型観光について理解を深める受講者

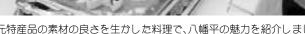
心停止した人に電気ショックを与え救命する自動体外式 たるうと日赤県支部は1月25日、 市に3台を寄贈しました。 市は、すでに設置済みの本 市は、すでに設置済みの本 方を除き、松尾、安代両総合支 所と田山支所に1台ずつ設置。 がなくても自動音声に従って 操作が可能。死につながる恐 れのある不整脈が起こった際 の蘇生率アップに役立ちます。

日赤が

AED寄贈。

松尾・安代・田山に設置

者を認定する岩手県農業農村に取り組んでいる優れた農業農村の振興に意欲的



地元特産品の素材の良さを生かした料理で、八幡平の魅力を紹介しました

体験しました。

田村市長(中央)を囲む農業農村指導士に認定された皆さ ん。写真左から田村さん、清水畑さん、北□さん、工藤さん

指導員養成講座が開催されまりた。この資格取得には健康が選が、一ルで効果、医学との関係が要です。受講者は、温泉の必要が必要です。受講者は、温泉の受講が必要です。受講者は、温泉の受講が必要です。受講者は、温泉医学、温熱生理学、必要です。受講者は、温泉医学、温熱生理学、必要です。受講者は、温泉医学、温熱生理学、

ニジマス、ヤマブドウなどの消をテーマにホウレンソウ、ニュー試食会を開催。地産地シェフが腕を振るった健康メシェフが腕を振るった健康メショカ目は、市内ホテルの3日目は、市内ホテルの した料理に舌鼓を打ちました。を確認しながら、素材を生かれ、参加者はレシピや調理法特産品を使った料理が並べら

長業農村指導士4人が新たに認定される

農業振興に活躍します。

生き生きすくすくと心と体の健康づくり



地域づくりについて意見交換が行われました

につ いて意見交換しました。

話

西根

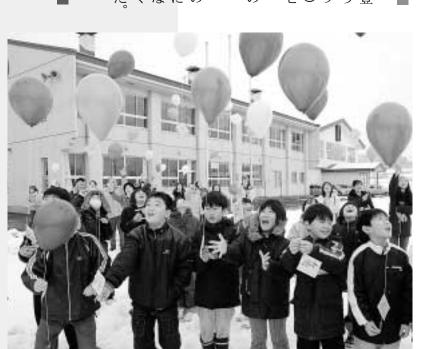
七時雨「森

夢浪漫フ

オ

題

ム」(七時雨ロマンの会主催) は2月18日、西根地区市民センターで開かれました。 7ォーラムでは、寺田小の 4年生が涼川を水質調査し、 学んだことを発表しました。 大更出身で東北歴史博物館の 工藤雅樹館長が川の古代史に ついて講演。田村正彦市長な どが地元学を通した地域づく と「森と川・夢浪漫フォーラかな自然を未来へ継承しよう ふるさとの魅力を語り、 豊



創立130周年を記念して、風船に願いを込めて

夢で風船を膨らませ希望は大空高く舞う

プ

進大会を行いました。 市民センターで健康づくり推 の意識と知識を高めてもらお の意識と知識を高めてもらお

"

30周年を迎えた寺

食生活改善推進員が地元食材で健康メニューを提案

田小学校は2月1日、130 個の風船に夢を乗せて一斉に個の風船には、一人一人が希望に 機能し、節目を祝いました。 風船の発射式には、児童や 交母、卒業生など130人が 参加しました。色とりどりの 風船には、一人一人が希望に 横ちたメッセージを添付。同 横ちたメッセージを添付。同 た。4 で3年の丹内美和さんは「保 で3年の丹内美和さんは「保 で3年の丹内美和さんは「保

7

組みを紹介し、参加者は福祉域福祉をテーマに同市の取り裕宮古市長は、地方分権と地医師である姉妹都市の熊坂義

について理解を深めました。

くり」と題して講演しました。さんが「認知症の予防と街づ

リハビリ病院を営む旭俊臣大会では、千葉県で神経内

ク

ッ

これまで6571人の卒り29日に寺田学校として開校月29日に寺田学校として開校を出て開校を上げました。 業生が巣立っていまれば、これまで6571 います。

大空へ発射する寺田小学校の児童たち

声で、風船を大空に向け一斉同校のますますの発展を願い、可校のますますの発展を願い、と成長し、大きな花が開きまと成長し、大きな花が開きま と成長し、大きな花の種をくくり付け、 すくす

消防署職員からAEDの講習を受ける市の職員

博物館に春が来た。

パンフラワー

満開に

プ

両地区の冬のイベントを初めて年4月に発足した八幡平市昨年4月に発足した八幡平市でも見る。

7

来場者は全長150粒もある日本一の滑り台や雪像などで楽しみました(松尾会場)

おひ

なさまに孫のすこやかな成長を祈願

18日、地区内で一斉舌り松尾スノーバスターズは2月松尾スノーバスターズは2月水産をする

同日に開催しました。

ク

一の雪上滑り台が登場。雪像には、全長150 ㍍ ある日本テーマです。主会場の温泉郷イベントは「雪と親しむ」が

松尾スノ

バスタ

ズに学生助っ

人参上

人たちと交流を深めました。人たちと交流を深めました。今生など9人がの家から高校生など9人がの家から高校生など9人がの家から落ちた雪の多さにびつくから落ちた雪の多さにびつくりした様子。スコップを手にかんと雪を払いのけ、ボランティア活動を通して、地域の人たちと交流を深めました。

題

スノーモービルを運転し楽しむ来場者(西根会場) ひな祭りを前にした2月16日、おひな祭りを前にした2月16日、おひなさまの押し花額を 展館講座が行われました。 民館講座が行われました。 民館講座が行われました。 大さは必込んで完成。参加者は孫の健やかな押し花で彩りました。 は孫の健やかな成長を願いながら、かわいらしい押し花額を は孫の健やかな成長を願いながら、かわいらしい押し花額を は孫の健やかな成長を願いながら、かわいらしい押し花額を

安代ライ 才 ンズが三ヶ 田杯入賞盾を寄贈

安代ライオンズクラブ(本宮武彦会長)は2月5日、三ヶ宮武彦会長)は2月5日、三ヶ宮武彦会長)は2月5日、三ヶ田礼一杯第15回安代地区小中学校スキー大会会長に贈りました。同クラブは、青少年健全育成支援活動を行っています。大会は、平成4年のアルベールビル五輪スキー複合団体で、一大会は、平成4年のアルベーしたことを記念して開催。小中学生が、偉大な先輩を目標で、中学生が、偉大な先輩を目標で、したことを記念して開催。小中学生が、偉大な先輩を目標で、 に取り組んでいます



会場の博物館を華やかに彩ったパンフラワー

高齢者が生き生き活動「きてけろサ

ロン

プ

ら25日まで、パンフラワー展うと、市博物館は2月3日か一足先に春を感じてもらお

ワー展のおおり

を開催しました。

安代地区の高齢者などが気軽に集まり、会話やゲームない活動が活発になっています。の活動が活発になっています。の活動が活発になっています。が住みなれた地域で生き生きが住みなれた地域で生き生きと暮らせるようにと、小規模と暮らせるようにと、小規模となるようにと、小規模となるようにと、小規模となるようにと、小規模となるようにという。 が登録してい ます

ようと、地域ボランティアの代地区全域にサロンを発足し 育成と協力を求めて います

きてけるサロンは、地域ボランティアが計画 を立て、地域の特徴を生かしながら、自主的な 活動を進める小規模な社会福祉活動団体です。 高齢者が生き生きと活動する場を設け、結い の精神を大切にし、安心安全な地域づくりを 目指しています

開催。参加者は、ぞうりの編み開催。参加者は、ぞうりの編みの場合ない。 で、布で編む「ぞうり作り」を 23日、「パるしている

ブリックセンターみなくる」苗代沢サロンは1月23日、「パロりほど活動している

11 ●広報/はちまんたい●2007/3/1